# 公 用 天 州 哈 和 61- 34924

国際調査報告FYM OYDIAT

⑩日本国特許庁(JP)

①実用新案出願公開

⑫ 公開実用新案公報(U)

昭61-34924

@int\_Cl\_1

識別記号

庁内整理番号

④公開 昭和61年(1986) 3月4日

A 46 B A 61 N 9/02 5/06

8206-3B 7437-4C

審査請求 未請求 (全 頁)

図考案の名称

頭髪用赤外線ブラシ

②実 願 昭59-121191

砂出 願 昭59(1984)8月6日

位考 案 者 岸

稔

茅ケ崎市浜之郷990-136

位考 案 者

健

小田原市鴨宮408番3号

他出 願人 鐘 紡 株 式 会 社 東京都墨田区墨田5丁目17番4号

沙代 理 弁理士 西藤 征彦

111

#### 明 細 書

1. 考案の名称

**顕髪用赤外線プラシ** 

- 2. 実用新案登録請求の範囲
- (1) 把持部およびブラシ毛植設部を有するブラシ本体と、このブラシ本体のブラシ毛植設部は 設立れたブラシ毛と、赤外線源と、この赤外線の 透光路となる光ファイバーとを備え、上記光の イバーの先端部が、上記ブラシ毛植設部に れた光ファイバー露出用孔内にブラシ本体の内側 から配挿されているか、もしくはブラシ毛植設かく られたとするよう上記ブラシ毛植設か られ立していることを特徴とする頭髪用赤外線ブラシ。
- 3. 考案の詳細な説明

〔技術分野〕

この考案は、禿上がりや抜毛等の防止作用を有する頭髪用赤外線ブラシに関するものである。

(背景技術)

一般に、頭髪の禿上がりや抜毛等は毛根に対す



(1)



る血液の供給不良が原因であるといわれている。 最近、このような頭髪の禿上がりや抜毛を防止す るためのブラシとして、柔軟性をもつ棒体の一端 に把持部を形成するとともに他端にブラシ毛部を 形成し、このブラシ毛部にブラシ毛を植設した構 造のものが開発されている

この種のブラシは、把持部をにぎつて上下動させ、棒体を軽くしなわせて先端のブラシ毛部で頭皮を軽く叩き、頭皮を刺激して血行をよくしてもれたるようにはないである。しかしながら、この種のブラるものであるため、その効果は未だ満足しうるようなものではない。

#### 〔考案の目的〕

この考案は、禿上がりや抜毛の防止に対して著 しい効果を有する頭髪用赤外線ブラシの提供をそ の目的とするものである。

#### 〔考案の開示〕

上記の目的を達成するため、この考案の頭髪用

(2)

赤外線ブラシは、把持部およびブラシ毛植設部を有するブラシ本体と、このブラシ本体のプラシを体のプラシを体のプラシを構造されたブラシ毛と、赤外線源となる光ファイバーとを備えている光ファイバーの先端部が、上記プラシ毛に設けられた光ファイバー露出用孔内にブラシ本体の内側から配挿されているか、もしてブラシ毛植設部から植立しているという構成をとるのである。

すなわち、このプラシは、ブラシ毛による刺激だけでなく、光フアイバーから赤外線を頭皮に照射するため、プラシ毛による刺激と赤外線照射による刺激の双方が頭皮に加えられ、その相乗効果により頭皮の血行が著しくよくなり、禿上がりや抜毛を顕著に防止しうるのである。

つぎに、この考案を実施例にもとづいて詳しく 説明する。

第1図はこの考案の一実施例を示している。図 において、1は近赤外線を照射する赤外線ランプ



(3)



2 を備えたボディであり、このボディ1 にカバー 3 がねじ (図示せず) を利用して装着され全体で 箱体を構成するようになつている。ボディ1には 底部にスリツト4が設けられ、またカバー3には 側面にスリツト5が設けられ、赤外線ランプ2の 熱を外部に逃がすようになつている。 6 はボディ 1に設けられた赤外線ランプ2保持部であり、そ こにソケツト7が設けられている。赤外線ランプ 2 はこのソケツト7にら合して支持されている。 8 はカバー 3 に設けられたスイツチであり、ソケ ツト7にリード線9によつて結線されている。1 0 はこのソケツト7 に給電する電源コードである 。11は多数の光ファイバー11aを集束した光 ケーブルであり、その一端がボデイ1に取付けら れ赤外線ランプ2の前面に位置決めされている。 そして、他端はブラシ本体12内に配挿されてい る。このブラシ本体12はブラシ台部13とブラ シ蓋部14とからなりプラシ蓋部14のブラシ毛 植設部15から、上記光ケーブル11の他端から 取り出された光フアイバー11aがブラシ毛とな つて突出している。この場合、ブラシ毛植設部15のブラシ毛は、ブラシ毛植設部の部分的平面図である第2図に示すように、光ファイバー11a だけから 構成されているのではなく、通るではから、ではないる。そして、ブラシは、ブラシモを複数本づつ東ね、この毛を適宜をでかっている。 での毛が高く周辺部の毛が低くなるように設定されている。

このブラシは、頭髪くしとき用の通常のブラシ と同様に使用してもよいし、もしくはブラシ部で 頭皮を軽く叩くようにして使用してもよい。

なお、上記の実施例では光ファイバー11aと 通常の毛11bとを併用しているが光ファイバー 11aだけでブラシ毛を構成するようにしてもよ い。

第3図は赤外線ランプおよびその電源をボディ 内に収容し、取扱い性および携帯性を高めたブラ シを示している。第3図において、20は小形の





赤外線ランプ、21はその電源となる電池、22 は電極板を備えた電池保持部、23は赤外線ラン プ20の熱を放射するスリット、26はそれで が一25を集束した光ケーブル、26はそする 、27はカバー3をボでする。このおいた 、前記である。このおいた 、前記である。このおいた 、前シと同様、であるのでは 、前シ毛を併用し、両者を混成した状態で シ毛植設部から植立させている。

### 公開美用 昭和 01-34924

挿し、ブラシ本体12の表面から赤外線を投射するものであり、頭皮全体に対する均一な近赤外線 照射効果を得るようにするものである。

なお、上記実施例では、近赤外線照射を行つて いるが、これに限定するものではない。

#### (考案の効果)

この考案の頭髪用赤外線プラシは、上記のように構成されているため、ブラシ毛の摩擦、衝撃等による血行促進作用と赤外線照射による血行促進作用との相乗作用により、毛根に対する血液の供給量を増大させ、それによつて禿上がりや抜毛等を有効に防止しうるのである。

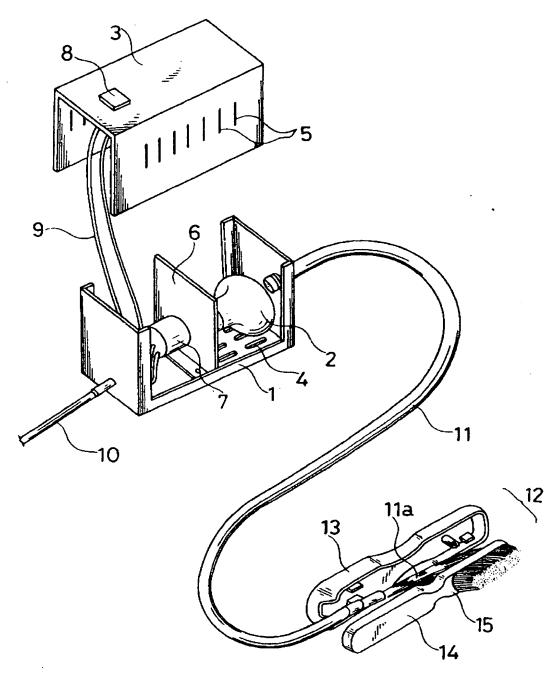
#### 4. 図面の簡単な説明

第1図はこの考案の一実施例の分解斜視図、第 2図はそのブラシ毛植設部分の部分的平面図、第 3図は他の実施例のブラシ蓋部の平面図、第4図 はさらに他の実施例のブラシ蓋部の平面図である。

1 … ボデイ 2 … 赤外線ランプ 3 … カバー 1 1 … 光ケーブル 1 1 a … 光フアイバー 1 2 … ブラシ本体 1 5 … ブラシ毛植設部



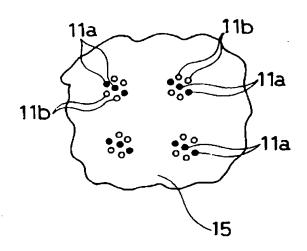
(7)



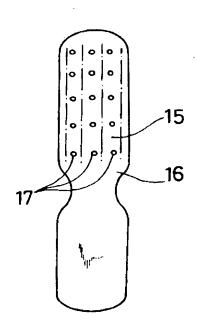
第 1 図

193

# 公開美用 昭和 01- 34924



第 2 図

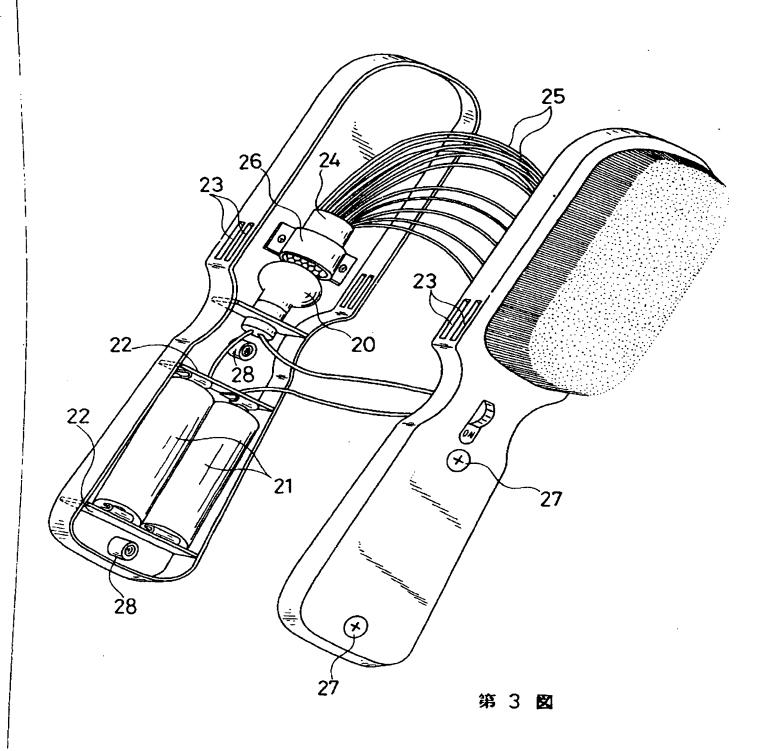


194

第 4 図

JUNEAU STORY T

代理人,维士西藤征彦



# This Page is Inserted by IFW Indexing and Scanning Operations and is not part of the Official Record

#### **BEST AVAILABLE IMAGES**

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images include but are not limited to the items checked:

BLACK BORDERS

IMAGE CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES

FADED TEXT OR DRAWING

BLURRED OR ILLEGIBLE TEXT OR DRAWING

SKEWED/SLANTED IMAGES

COLOR OR BLACK AND WHITE PHOTOGRAPHS

GRAY SCALE DOCUMENTS

LINES OR MARKS ON ORIGINAL DOCUMENT

REFERENCE(S) OR EXHIBIT(S) SUBMITTED ARE POOR QUALITY

## IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

☐ OTHER:

As rescanning these documents will not correct the image problems checked, please do not report these problems to the IFW Image Problem Mailbox.